

機関である商工会議所・商工会や、技術支援を行う工業技術センターなどの他の産業支援機関との連携を強化することで、県内の産業支援機関が一体となった企業支援体制へと再構築していきます。

県は、県内の中小企業・小規模事業者が確固たる経営基盤を

築き、下請け体質から脱却し、新たなビジネスに次々とチャレンジすることで、社会変革や困難を乗り越えていけるよう、支援体制の再構築を進めながら、あらゆる経営課題に関係機関が協調して対応することで、県産業の持続的な発展につなげたいと考えています。

各首長との議論の場を新設して、様々なレベルでの意見交換を行いました。令和5年3月には、県と庄内の2市3町との連名で、「公立化と機能強化に係るとりまとめ」の報告書を作成。そのなかで、公立化と財政負担に関するロードマップなどを公表しています。現在、2市3町の間で財政負担の割合や機能強化の具体的内容について様々な意見があることから、公立化の年度を決定するためには、丁寧な合意形成が必要です。このためにも、本定例会でご提案をしている委託調査により、公立化する場合の財政負担の選択肢や機能強化策について分析を行い、関係者で共有したいと思っています。

私は「公立化は単なる看板の架け替えではない」と申し上げてきました。公立化と機能強化を行うことで、人口減少でも公益大が存続していくことが可能になると考えています。このため、令和5年2月から県が主導で「地域連携シンポジウム」を開催し、地元の経済団体や金融機関、自治体、県内外の企業と協力して機能強化の選択肢や方向性を探っています。これまで

も、再生可能エネルギーや次世代モビリティをテーマに議論するとともに、先週のセッションでは、酒田市内の街歩きや、酒田舞娘も交えた地域愛に溢れる討論など、学生と地域の人々が現場に出て、地域と向き合うことにより、地域の持続可能性を探る有意義な教育機会の提供になったと評価しています。

また、令和5年5月と6月には、県と2市3町の職員が、グローバルな人材育成で有名な秋田県の国際教養大学とコンピュータ理工学に特化している福島県の会津大学の先進的な公立大学への現地調査を行い、機能強化に向けた参考事例として活用します。

学問は哲学から出発しているといわれており、文系と理系についても、様々な分野でその境目が消失しつつあります。その意味で、学際的な領域である公益学に再生可能エネルギーやDXといった社会変化を柔軟に取り込みながら発展させることは、公益大の公立化および機能強化の追い風になると考えます。今後とも、調査や議論を深めながら、スピード感をもって関係者間の合意形成を図っていきます。

## 東北公益文科大学の公立化の具体的工程

令和5年6月26日(月) / 代表質問

### 石黒覚議員 / 質問

令和5年3月、県と2市3町による「東北公益文科大学(公益大)公立化と機能強化について」の報告書が作成されました。さらに機能強化については、令和5年2月から公益大において、県のサポートによる地元経済界と連携したシンポジウムが開催されています。吉村美栄子知事と県庁執行部のご尽力には、頭の下がる思いです。敬意と感謝を申し上げます。

公益大では、「魅力あるカリキュラムの構築」や「学生の自由な発想による地域活動参加」「きめ細かな就職支援」など、学生確保に向けた取り組みを継続していますが、人口減少の進行はもちろん、コロナの落ち着きから都会志向のゆり戻しがあるのか、誠に残念ではありますが、令和5年度は定員割れが生じる結果となりました。また、全国における公立大学が100校を数えるとの報道があり、今後、なんらかの抑制がなされるのではないかと心配をしています。

公益大が進めています、2025年度の国際コミュニケーション学科設置に合わせて公立化を進める方向も必要ではないかと考えます。

令和5年6月の補正予算にて、公立化した際の「財政負担のシミュレーション」「具体的な公立化および機能強化策の調査費」を計上しています。この先、山形・庄内の高等教育の在り方をどのように考え、機能強化を検討するのか、公立化への合意形成をどのように進めるのか、吉村知事に伺います。

### 吉村美栄子知事 / 答弁

はじめに、高等教育のあり方についてお答えします。県内には山形大学を始め、県立や私立の4年制大学、短期大学など、様々な高等教育機関が存在していますが、庄内地方の4年制大学は山大農学部と公益大のみであり、庄内地方の高等教育において公益大の存在は大きいと考えています。公益大は、「庄内地域に4年制の大学が必要だ」という皆様の要望があり、庄内2市3町と県が設置したという経緯があります。人口の社会減が進むなか、県内の高等教育機関がそれぞれ特色を生かし、横の結びつきを深め、相互の交流を促進して、質の高い教育や研究を進めていくことが重要です。

公益大の公立化・機能強化については、令和4年度に副知事と

## 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた洋上風力発電の推進と県民の理解について

令和5年6月26日(月) / 代表質問

### 石黒覚議員 / 質問

12年前、東日本大震災発災と同時に福島第一原発事故発生後、福島県民は、ピーク時16万4,865人(平成24年5月)が全国各地での避難生活を強いられました。吉村美栄子知事は「安全性、コストの面で、原発は今まで考えら

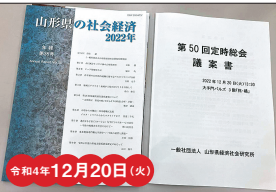
れてきたようなエネルギーではない」ことから、平成23年7月に開催された全国知事会議において、嘉田由紀子・滋賀県知事(当時)と一緒に、原発への依存度を少なくしながら、風力や太陽光発電などの導入を進めていく提言を行いました。私は全面的に賛同します。



令和4年12月18日(日)

### 山元地区収穫感謝祭に出席(酒田市)

手づくりした竹灯籠飾りとおめでたい時に飾る紅白のなし団子、さりげなくサンタクロースもいました。皆様のあたたかさに感謝。



令和4年12月20日(火)

### 山形県経済社会研究所第50回総会・研修会に出席(山形市)

国際協力活動から平和の尊さ、子どもたちの笑顔が溢れる日常の大切さを、改めて教えていただきました。



令和4年12月21日(水)

### 安田バイパスを実現する会の要望活動に参加(三川町)

庄内総合支庁において「安田バイパスを実現する会」の皆様と建設部長へ早期完成の要望活動に参加しました。



令和4年12月25日(日)

### 浜中地区からの要望された現場を確認(酒田市)

①登下校に横断する箇所へ安全対策が必要②酒田市南体育館の雨漏り改修。県民の安心安全対策は、万全が基本です。

### 山形県・令和5年度当初予算の主な事業③

- 健康福祉部 ●病院薬剤師確保対策事業費(採用が困難となっている病院薬剤師の確保・県内定着を促進)……1,936.6万円
- 健康福祉部 ●「健康長寿日本一」の実現に向けた健康づくりの強化(①「チャレンジ! プラス1,000歩!」②減塩・ベジアッププロジェクトの展開)……1,583.9万円
- 健康福祉部 ●外国人介護人材支援センターの設置・運営(県内で働く外国人介護職員および介護事業所をサポートする「外国人介護人材支援センター」を設置)……600万円

コロナ乗り越え、  
県民一丸  
未来を拓く